

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 2 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	47	利用者、個々が使用している薬の目的や副作用、用法、用量について理解が一部の職員しかできていないのでマニュアルを改正しても全職員の理解ができているとは言えない。	グループホーム全員が自分の所属するユニットの入居者様全員の薬についての理解をし、服薬支援の重要性、責務を感じ、服薬支援を行う。	現在、一週間分の薬板を作成して時間ごとに貼り付けているが2人の職員が介助前に確認、薬板からはずす時、氏名、日付け、服薬時間を確認する事等で誤薬、落薬をなくすように責任を持って服薬介助の重要性の意識を持つ。	1ヶ月
2	49	現状、入居者1名と職員で備品の買物に月に1回～2回程度支援しているが、回数も外出できる入居者も限られている。	週に1回位のペースで車椅子の方も外出、買物に出かけられるように支援する。		3ヶ月
3	45	入浴拒否の入居者も多様な努力で入浴して頂いているが楽しんで入浴して頂いているようには見受けられない。	個々の入居者の好みに合せ、浴場に入る事が楽しみになるような場づくりを職員と家族の意見も頂き作りあげ楽しみになる入浴時間にする。	ご家族の来館時、この事に関しての理解をして頂き、ご意見を頂き、職員が楽しく入浴して頂ける努力を怠らず継続支援してゆく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。